

#### 141. タイでサバを食べる

国際戦略室長 藤本 裕之

アレルギーを持っています。普段は特に感じないのですが、子供の頃に1度「サンマ」でアレルギーを発症したことがあります。どうも青い魚にアレルギーがあるらしい、と言うことで気をつけていたのですが、2回目の発症がありました。以下、その話です。

20年程前ですが、JICAの専門家として、タイに住んでいました。タイ料理がおいしいのはもちろんですが、国際都市バンコクでは、様々な国の料理があります。日本食も、多数のレストランで食することができます。（「和食」と言うより、「日本食」の方が雰囲気があります。）その中に、「サバ・ステーキ」がありました。「サバ・ステーキ」は、要するにサバを焼いたものです。塩焼きというよりは、タレ焼きという感じです。テリヤキと呼んでいました。日本食を食べたくなると、職場近くのホテルにある日本食レストランへ行き、サバ・ステーキ定食を食べたものです。

サバ・ステーキは、スーパーでも手に入ります。バンコクには、「フジ・スーパー」という日本食材を中心にしたスーパーがあります。多くの日本人は、ここで買い物をしていきます。サバは、タイのシャム湾でとれることはなく、ノルウェー産などが、日本を経由してタイに來ます。サバも国際的です。スーパーでは、生のサバは売っていません。何故か、「サバ・ステーキ」すなわち焼魚のみが売られていました。

平日はお手伝いさんが食事を作るので、タイ料理、日本料理、何でも注文しておけば、それなりのものを食べることができます。土日はお手伝いさんは休みです。ある週末、スーパーで「サバ・ステーキ」を買って、昼食にしました。しばらくすると、腕に赤い発疹が現れ、あっという間に腕全体に広がって行きました。その後、全身が赤くなり、最後は顔まで赤くなってしまいました。これはいけない、ということで、運転手に「病院へ行ってくれ」と告げ、車中の人となりました。日本人のよく行く病院に行き、医者に「サバ・アレルギーなので、抗生物質を注射して欲しい」とお願いし、抗生物質の注射をしてもらいました。30分もすると発疹は消え、家に帰ることができました。

体調が良い時には、サバを食べても何ともないのですが、体調不良の時、抵抗力が無くなっている時には、てき面に「当たる」ようです。タイでの生活、仕事で、きっと疲れが出ていたのでしょう。タイでは、生魚には寄生虫がいる、と言われていたので、しっかり熱の通ったものしか食べないようにしていたのですが、サバで当たるとは。盲点でした。

現在のバンコクでは、日本人専用病棟を備えた大病院があります。日本の大学医学部を出た日本語の達者な医者が常駐し、看護婦さんも同様に日本の大学卒業です。病気になっても、日本語だけで不自由ありません。食事も、洋食、日本食、タイ料理をメニューから選べる、と至れり尽くせりです。次回、タイでアレルギーを発症した時は、ゆっくりと入院することにしましょう。



写真1 バンコク市内で見つけたマックの  
「チキン・スパイシー・テリヤキ弁当」の看板  
(サバとは関係ないですが……。マックで弁当?)



写真2 タイでは、ドナルドもタイ式挨拶（ワイ）をしています  
(後ろは、ガソリンスタンドに併設されたセブン・イレブンと  
マクドナルドです)